

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

□活動対象四ヶ国で、2023年度実施計画についての協議を実施

「技能評価システム移転促進事業（SESPP）」では、日本式技能検定のノウハウを海外に移転することを目的として、対象国において各種研修を実施しています。

事業の効果的・効率的な実施を図るため、今年度の活動対象国であるインドネシアと6月12日（月）、カンボジアで6月19日（月）、ベトナムで7月25日（火）、ラオスで7月27日（木）に各国政府人材開発部局と厚生労働省およびSESPP事務局を中心に当年度の実施計画についての協議を開催しました。インドネシアとはオンラインでの実施となりましたが、カンボジアとベトナム、ラオスは現地での対面協議を実施し、活発な意見交換を行うことができました。

協議では研修・セミナー及びトライアルの対象職種・等級、参加者、スケジュール、事業の達成目標やその手順等の調整を行い、実施方針を決定しました。各国の実施方針とポイントは以下のとおりです。

【ベトナム】

・昨年度と同様ベトナムでは新政令に基づきODA事業承認手続きが必要となっているが、承認手続きが複雑になり、かつ、承認に要する期間が長期化しており、ベトナム政府を通しての事業実施が困難な状況となっている。このため、南部ホーチミンのサイゴンハイテクパーク訓練センター(SHTP-TC)と日系企業の協力をいただき、業界検定として事業をすすめることとした。

技能検定

- ・機械検査職種では、3級と2級を実施し、3級では昨年度に引き続き、技能評価トライアルと評価者認定を行い、新たな評価者を誕生させることを目標とする。2級は技能評価者講習と技能評価トライアルを開始する。
- ・Covid-19の影響で3年間中断していたシーケンス制御2級を再開し、本年度は技能評価者講習と技能評価トライアルを実施する。

【カンボジア】

技能検定

- ・電気系保全2級と配電盤制御盤組立て2級は、技能評価トライアルを実施し、次年度の評価者認定に向けた取組みを行う。
- ・機械検査3級は、技能評価トライアルを実施する。

技能競技大会

- ・2021年より実施している情報ネットワーク施工職種の支援を行い、将来的にカンボジアでの国内技能競技大会を自立運営できる人材の育成を行う。2024年に開催される国内技能競技大会で競技種目、または模擬競技として実施することを目標とする。

【インドネシア】

技能検定

- ・Covid-19の影響で中断していた、プラスチック成形2級の技能評価者講習と技能評価トライアル、評価者認定を行い、評価者を誕生させる。

【ラオス】

・ラオスでの活動は、2017年度を最後に一時中断していたが、本年度より再開することとなった。

技能検定

・配電盤制御盤組立て3級は、2018年度より中断していたため、本年度は技能評価者講習と技能評価トライアル、評価者認定を行い、評価者を誕生させる。

・新たに機械検査3級を開始し、技能評価技法研修を実施する。



対象国協議の様子(カンボジア)



対象国協議の様子(ベトナム)



対象国協議の様子(ラオス)

□活動対象国関係各所への訪問記録

対象国協議で各国を訪問した際に、現地のものでづくり産業や産業人材育成の現状に関する情報収集、SESPP事業の広報を目的に、日系機関や日系企業を訪問しています。特にCovid-19の影響で2年間対面での情報交換の場がなかったことから、本年度は様々な機関、企業を訪問しました。

【ベトナム】

・ホーチミン日本商工会議所を訪問し、業界検定として本事業を推進していく上でのご助言をいただきました。また、会員企業への周知広報を依頼し、ご快諾いただきました。

・サイゴンハイテクパーク訓練センターで実施する研修に協力いただき、ミツバ・ベトナム、シオガイ精機ベトナムとベトナムでの人材育成や本事業推進方法に関しての意見交換を行いました。

・ビンズオン工業団地のResearch and Development Institute(RDI)を訪問し、産学連携の研修施設Advanced Manufacturing Center(一部稼働中)を視察しました。同施設は、各種工作機械や測定器類等が整備されており、将来的には Eastern International Universityが管理運営する予定で、工業団地内の企業の社員研修や スタートアップ企業への支援に活用されるとのことでした。

【カンボジア】

・JETROプノンペン事務所、ロイヤルグループプノンペン経済特区社を訪問し、カンボジアにおけるものづくり分野の現状を伺いました。今後の本事業の展開を考えるうえで、様々な情報をいただきました。

・過去本事業の技能評価トライアルに受検者を派遣いただいた、Minebea(Cambodia) Co.,Ltd.とSOKEN(Cambodia) Co.,Ltd.を訪問し、本年度の計画を説明の上、受検者派遣の依頼と、人材育成に関する課題を中心に意見交換を行いました。

【ラオス】

・6年ぶりの再開となるので、ラオスのものづくりの現状を伺うことと、SESPP事業の紹介、本年度の計画の広報を目的に、在ラオス日本国大使館、JICAラオス事務所、JETROビエンチャン事務所、ラオス日本人商工会議所を訪問し、様々な意見交換を行いました。

ラオスではまだものづくり産業が発展していないこと、グリーンエネルギー（水力・風力発電）でほぼ100%のエネルギーを賄っていること等、大変興味深いお話が伺えました。

□ 2023年度の技能評価システム移転促進（SESPP）事業の実施計画

本年度は、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスにて以下の現地研修を予定しております。技能評価トライアル（SET）では指導員向けの研修と模擬検定を実施します。トライアルへの参加、見学のご希望があれば、SESPP事務局までメールにてご連絡ください。ただし、機材の関係で定員が限られております。ご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。

セミナー・トライアル	実施時期	実施場所
■ ベトナム <ul style="list-style-type: none"> ・機械検査3級SET/SAC ・機械検査2級SAT/SET ・シーケンス制御2級SAT/SET 	9月14日(木)～9月18日(月) 12月6日(水)～12月11日(月) 1月10日(水)～1月14日(日)	サイゴンハイテクパーク訓練センター/ミツバ・ベトナム サイゴンハイテクパーク訓練センター サイゴンハイテクパーク訓練センター
■ カンボジア <ul style="list-style-type: none"> ・電気系保全2級SET ・配電盤制御盤組立て2級SET ・機械検査3級SET ・情報ネットワーク施工AMM 	10月16日(月)～10月20日(金) 10月30日(月)～11月2日(木) 2月19日(月)～2月22日(木) 2月5日(月)～2月9日(金)	国立技術訓練大学(NTTI) 産業技術大学(ITI) カンボジア国立ポリテク大学(NPIC) カンボジア国立ポリテク大学(NPIC)
■ インドネシア <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック成形2級SAT/SET/SAC 	11月13日(月)～11月17日(金)	松下グローバル財団（YMG）
■ ラオス <ul style="list-style-type: none"> ・配電盤・制御盤組立て3級SAT/SET/SAC ・機械検査3級SEM 	12月11日(月)～12月15日(金) 1月15日(月)～1月19日(金)	技術開発院(SDI) 技術開発院(SDI)

SAT : Skills Assessor Training (技能評価者講習) 技能検定試験を実施・運営する評価者を養成するセミナー

SEM : Skills Evaluation Method (技能評価技法研修)

基準と細目に基づく、学科・実技試験問題の作成と、実技試験の採点基準と実施要領の作成方法を学ぶ研修

SET : Skills Evaluation Trial (技能評価トライアル) 技能検定試験などを現地で試行的に実施

SAC : Skills Assessor Certification (技能評価者認定)

SETにおいて認定対象者を講師が一定の基準により評価し、基準を満たせば認定評価者として認定

AMM : Assessment and Marking Method (競技課題採点・評価方法セミナー)

技能競技大会を実施・運営する人材を育成するセミナー



技能評価トライアル実施風景
(ベトナム機械検査/実技)



技能評価トライアル実施風景
(カンボジア配電盤制御盤組立て/実技)



技能評価トライアル実施風景
(カンボジア電気系保全/学科)

■ 2022年度(令和4年度)日本の技能検定実施状況について

2022年度は869,519人が受検し、うち359,641人が合格して「技能士」の称号を手に入れました。創設当初からの合格者の累計は8,365,025人にのぼります。2022年度は2021年度(令和3年度)と比較して受検申請者数が10.6%の減少、合格者数が2.3%の減少となりました。

2022年度を等級別にみると受検者が最も多かった等級は2級でした。職種別に見ると受検者が最も多かった職種は、ファイナンシャル・プランニングで、以下、機械保全、機械加工、とび、知的財産管理と続いています。

◆ 等級別の実施状況

等級 (技能検定の合格に必要な技能及び知識)	受検申請者数 (令和3年度比)	合格者数 (令和3年度比)	合格率 (令和3年度)
特級 (管理者又は監督者に必要な技能及び知識)	4,424人 (-8.3%)	1,418人 (-28.9%)	32.1% (41.3%)
1級 (上級の技能労働者に必要な技能及び知識)	93,393人 (-7.1%)	32,365人 (+7.6%)	34.7% (29.9%)
2級 (中級の技能労働者に必要な技能及び知識)	342,671人 (-12.2%)	99,140人 (-10.9%)	28.9% (28.5%)
3級 (初級の技能労働者に必要な技能及び知識)	305,230人 (-11.6%)	163,059人 (-6.0%)	53.4% (50.2%)
単一等級 (等級に区分していない職種で、1級相当の技能及び知識)	2,520人 (-15.8%)	1,284人 (-18.9%)	51.0% (52.9%)
合計	748,238人	297,266人	-

※上記に加え、技能実習生を対象とした検定が有り(基礎級、随時3級、随時2級)、2022年度は121,281人が受検し、62,375人が合格しています。

◆ 受検申請者数の多い職種(全等級合計)

職種名	受検申請者数	令和3年度比	合格者数	令和3年度比
ファイナンシャル・プランニング	539,871人	-12.9%	192,352人	-7.7%
機械保全	32,673人	-4.9%	13,668人	-7.5%
機械加工	19,050人	-13.7%	10,326人	-6.5%
とび	17,685人	-2.5%	8,417人	+11.9%
知的財産管理	16,847人	+4.6%	8,165人	+11.4%

(参考)厚生労働省報道発表資料 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34615.html

発行：SESPP事務局(株式会社JTB 霞が関事業部)

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266
 担当 : 近藤・池田・岩下
 E-mail : sespp@jtb.com